

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公表番号】特表2013-541369(P2013-541369A)

【公表日】平成25年11月14日(2013.11.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-062

【出願番号】特願2013-529355(P2013-529355)

【国際特許分類】

A 6 1 L 2/26 (2006.01)

【F I】

A 6 1 L 2/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月16日(2014.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

滅菌チャンバ内の滅菌条件を決定するための装置であって、前記装置が、前記滅菌チャンバ内に配置される細長いチューブ(2)であって、チューブ壁と内部の空洞とを有し、かつその一端が開放し、他端が閉鎖されている、細長いチューブ(2)と、前記細長いチューブの前記空洞内の少なくとも2つの温度センサ(7, 8)であって、前記細長いチューブの長さに沿って所定の距離、互いに離間され、かつ前記細長いチューブ(2)の内壁から離間されている、温度センサ(7, 8)と、を備え、前記少なくとも2つの温度センサ(7, 8)が、前記細長いチューブ(2)の前記開放端における開口部を介したもの以外は、前記細長いチューブの外部から実質的に熱的に断絶されるように配置されている、装置。

【請求項2】

前記チューブ内の少なくとも2つの温度センサ(7, 8)により測定された温度と、前記滅菌チャンバ内であるが前記細長いチューブの外部の位置で決定された参照温度に基づいて、所定の滅菌条件が前記滅菌チャンバ内で満たされているか否かを決定するよう適合されたプロセッサを、更に備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記装置が、(a)前記細長いチューブ(2)の外部の温度センサ(12)、及び(b)前記細長いチューブ(2)の外部の圧力センサ、の少なくとも一方を更に備える、請求項2に記載の装置。